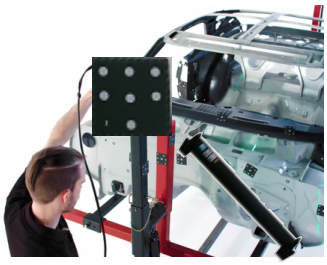
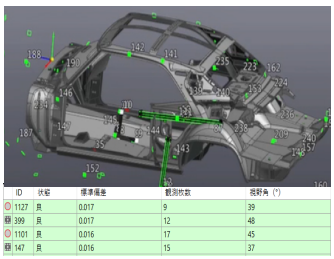
測定例

MaxSHOTを使用した測定の流れ

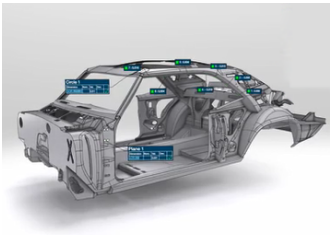


MAXSHOTで事前にターゲットと
スケールバーを測定



高精度なターゲットの位置座標を
取得して基準座標を作成

HandySCANなどのスキャナで測定



基準座標系で合成された高精度な
測定データによる検査

航空機部品の測定

技術仕様

		MaxSHOT Next	MaxSHOT Next|Elite
容積精度 *1		0.025 mm/m	0.015 mm/m
平均偏差 *2		0.008 mm/m	0.005 mm/m
容積精度 （右記モデルとの組み合わせ）	HandySCAN 307 *3 HandySCAN BLACK *3 HandySCAN BLACK|Elite *3	0.020 mm + 0.025 mm/m	0.020 mm + 0.015 mm/m
	Go!SCAN SPARK *4	0.050 mm + 0.025 mm/m	0.050 mm + 0.015 mm/m
	HandyPROBE Next *5	0.060 mm + 0.025 mm/m	0.060 mm + 0.015 mm/m
	HandyPROBE Next|Elite *5	0.044 mm + 0.025 mm/m	0.044 mm + 0.015 mm/m
	MetraSCAN 350 *5 MetraSCAN 750 *5	0.060 mm + 0.025 mm/m	0.060 mm + 0.015 mm/m
	MetraSCAN 350|Elite *5 MetraSCAN 750|Elite *5	0.044 mm + 0.025 mm/m	0.044 mm + 0.015 mm/m
重量		0.79 kg	
寸法（LxWxH）		104 x 180 x 115 mm	
動作温度範囲		5～40 ℃	
動作湿度範囲(結露なし)		10～90 %	

*1 VDI/VDE 2634パート1規格に基づく。性能は、追跡可能な人工物について35カ所の長さを測定することで評価（値=最大偏差）。
*2 VDI/VDE 2634パート1規格に基づく。性能は、追跡可能な人工物について35カ所の長さを測定することで評価（値=平均偏差）。
*3 MaxSHOTを使用した場合の容積精度は、組合わせる機器の最大精度を越えることは有りません。
*4 MaxSHOTを使用した場合の容積精度は、機器の最大精度を越えることは有りません。
*5 MaxSHOTを使用する場合、システムの容積精度がデフォルト容積精度を超えることはありません。

記載されている会社名、製品名およびサービス名称は各会社の商標または登録商標です。
記載内容は2020年4月現在のものです。記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

TOYOTA SYSTEMS

株式会社 トヨタシステムズ
Mail：tci-ads@ml.toyotasystems.com
URL：https://www.toyotasystems.com